

登録有形文化財「藤岡家住宅」

令和4年・冬の展示

藤岡家所蔵資料に見る 幕末の人々①

# 公武合体百六十年

令和四年十月一日(土)〜十二月二十三日(金)

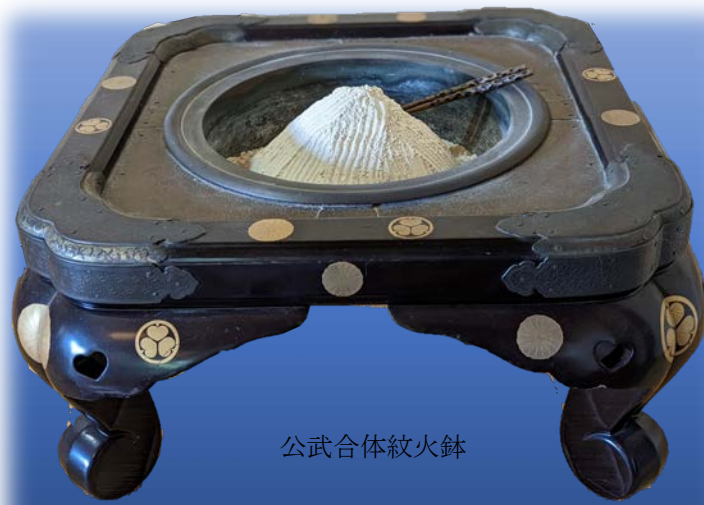


吉野河原鉄砲稽古之図  
「慶応3年(1867)五條代官中村勘兵衛宇智郡の村々より兵募り鉄砲稽古藤岡長一郎此内の一人也」と記されている。  
上はその当時用いられた葦山笠と陣笠。



禁裏御所御撫物御休

「禁裏御所御撫物御休」と記された板



公武合体紋火鉢



上『明治維新発祥記仮綴』  
樽井藤吉著(大正8年)  
下『有栖川宮幟仁親王御事蹟』  
皇典研究所(昭和11年)

登録有形文化財「藤岡家住宅」(管理法人 NPO 法人うちのの館)

〒637-0016 奈良県五條市近内町526 電話とFAX0747 22 4013

info@uchinono-yakata.com 月曜休館・祝日のときは開館して翌日休館 9時~16時

やかた



## 藤岡家所蔵資料に見る 幕末の人々①

# 公武合体 百六十年

令和4年10月1日(土)～12月23日(金)

「公武合体」は、江戸末期の政治運動。安政5年(1858年)6月の日米修好通商条約の締結以来、動揺を続ける幕藩体制を、朝廷の伝統的権威と結びつけることによって立て直そうとした運動。文久2年(1862年)2月、孝明天皇の妹和宮の14代将軍徳川家茂への降家はこの運動の一つ。

本年は、和宮降家から160年となる年です。藤岡家は、金剛山麓(大和五條側)にある庄屋で、屋号は大坂屋。薬商、薬種商、両替商を営んでいました。金剛山を超えて、京・大坂から伊勢や吉野・熊野・高野方面に向かう人々は、藤岡家の道を経由して五條の盆地に入りました。江戸時代には人の往来も多かったため、文久3年(1863年)8月に五條代官所を襲撃した天誅組は、さらに西の千早峠を越えています。公武合体から明治維新に至るまでの人々の動きを、「藤岡家所蔵資料に見る幕末の人々」をテーマに、今回の「公武合体百六十年」、次回(令和5年1月～3月予定)の「天誅組百六十年」で展示します。



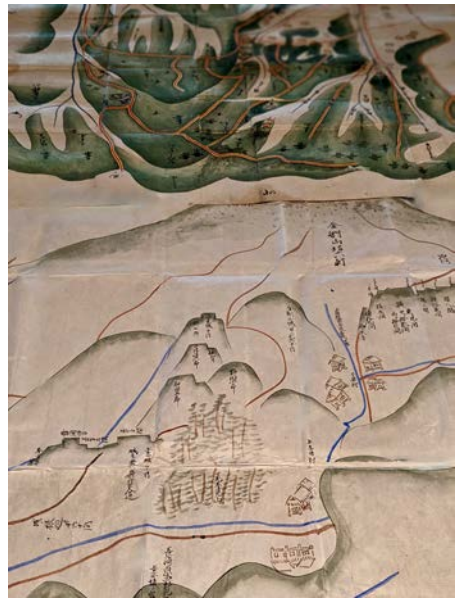
宝鏡寺檀宮理  
豊女王書軸  
「仁敬孝慈信」



五條代官宛 藤岡家より冥加金の記録



万延元年(1860年)の遣米使節団を報道したアメリカの絵入り新聞  
(昭和5年九州新聞社による復刻版)



上) 金剛山五條側地図  
下) 金剛山大坂側地図

登録有形文化財「藤岡家住宅」管理法人

NPO 法人 うちの館(やかた)

〒637-0016 奈良県五條市近内町526 電話と fax0747(22)4013

[info@uchinono-yakata.com](mailto:info@uchinono-yakata.com)

<http://www.uchinono-yakata.com>

月曜休館・祝日のときは開館して翌日休館。9時～16時。

高校生以上300円 小・中学生200円 20名以上2割引

句会、会議などにもご利用いただけます。(室料3000円/2500円)

